

# (社)日本医業経営コンサルタント協会 福岡県支部主催 第 3 回 継続研修開催のご案内

社団法人日本医業経営コンサルタント協会は、医業経営コンサルタントの養成とその資質の向上を図ることで、医業経営の安定化に資するとともに、医療界に貢献することを目的として設立されました。その主旨のもと、福岡県支部では、毎年独自に年間5回の継続研修を開催しており、一般の保健・医療・福祉関係者の皆様にも広くご参加いただける研修会を企画いたしました。皆様方多くのご参加をお待ち申し上げます。

(社)日本医業経営コンサルタント協会 福岡県支部 支部長 向江 健治

**日時** 平成23年11月11日(金) 10:00~17:00 (受付開始9:30)

**【午前の部】 10:00~13:00**

## 「終末期医療と今後の病・医院経営」 ～人はどう老い、どう死ぬべきか～

**講師** : 国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営専攻  
医療経営管理分野 教授 高橋 泰 先生

<事務局より>

平均寿命の伸びにより人生は長くなくなり、「老後」といっても、決してひと括りには出来ないようになりました。そんな時代の‘寄りどころ’となるのは？ 急性期疾患・救急医療(キュア)も大事なことです、さらに大切なことは、高齢、単身、要介護となって行くときの寄り添って貰える慢性期疾患の医療(ケア)ではないか、と想います。本講では、医師で臨床経験も豊かな高橋教授より、各国の様々な医療制度を踏まえて、「老いと死」という重く、けれども、だれもが避けられないことを分かりやすく伝えていただきます。

**【午前部】 14:00~17:00**

## 「これからの地域包括ケアシステムと高齢者住宅について」

**講師** : 九州大学大学院 医学研究院 医療経営・管理学講座  
教授 医学博士 馬場園 明 先生(14:00~16:00)  
**講師** : 株式会社CCRC研究所  
代表・医学博士 窪田 昌行 先生(16:00~17:00)

<事務局より>

老いと死はやがてはだれにも必ず訪れることです。けれどその前に見慣れた街からの居場所を失う可能性だってあります。低所得・単身・虚弱となり、介護が必要とされたとき、今までの住み慣れた団地(階段の無い)を出なくてはならなくなったり・・・  
これからの地域包括ケアシステムは、中学校区をめやすに、医療と介護の一体的で継続的なケアを受けられる地域社会(コミュニティ)を創りだすことにあります。  
本講では、高齢者と若い地域住民との共生型生活など、住み慣れた街・住まいで暮らせる様々な事例も伝えてくださるものと想います。

**会場** 天神ビル11階 11号室

福岡市中央区天神2-12-1

**【交通アクセス】**

⇒<http://www.kyumen.co.jp/rental/tenjin.html>

**定員** 120名

(定員に達し次第、  
締め切らせていただきます)

**受講料**

<協会会員>

午前・午後の部：各 9,000円

<医療機関職員・その他>

1日当たり 4,500円

※研修会当日、会場にてお支払ください

※会員の方は、会員証(磁気カード)をご持参下さい。

※お申し込み詳細につきましては、2枚目をご覧ください。

## 午前の部

### 「終末期医療と今後の病・医院経営」

～人はどう老い、どう死ぬべきか～ 講 師 : 国際医療福祉大学大学院  
医療福祉経営専攻 医療経営管理分野 教授

高橋 泰先生

人の老化の進行パターンや今後の日本の高齢化の進行に関するデータを示しながら、これからの日本人の老い方や死に方がどのように変わっていくかを展望する。

## 午後の部

### 「これからの地域包括ケアシステムと高齢者住宅について」

14:00～16:00

講 師 : 九州大学大学院 医学研究院 医療経営・管理学講座 教授 医学博士  
馬場園 明 先生

高齢者住宅を取り入れた地域包括ケアシステムを機能させるには、支援者が共有できる理念が必要である。「高齢者が意義のある生活を続けることを支援する」ことを理念とした高齢者支援の紹介をしたい。

16:00～17:00

講 師 : 株式会社CCRC研究所 代表・医学博士

窪田 昌行 先生

政府はゴールドプラン、介護保険制度を施行してきたが、急速な高齢化のニーズにインフラもサービスも対応できていない。2025年を目指した地域包括ケアが切り札になるか、その課題と高齢者住宅のあり方についてお話する。

国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営専攻 医療経営管理分野 教授

講師：高橋 泰（たかはし たい）先生

略歴

1959年生まれ(52歳)。1986年金沢大学医学部卒、東大病院研修医、東京大学医学系大学院（医学博士）、米国スタンフォード大学アジア太平洋研究所客員研究員、ハーバード大学公衆衛生校武見フェローを経て、1997年より国際医療福祉大学教授、2004-8年医療経営管理学科長、09年より現職。

(必要なら以下を足してください)

現在、全日本病院協会広報委員会特別委員、介護保険部会委員会特別委員、NPO法人日本DPC協議会副理事長などを務める。専門は医療制度論、高齢者ケア（介護予防）であり、主な著書に「T A I 高齢者ケアプランビジュアル作成（日経BP）」、「DPC実践テキスト（じほう）」、「医療と介護の連携のための疾患別ケアマネジメント基礎講座 vol.1（日本介護支援専門員協会）」などがある。

九州大学大学院 医学研究院 医療経営・管理学講座 教授 医学博士  
講師：馬場園 明 先生

**略歴**

昭和 59 年 3 月	九州大学医学部卒業
昭和 61 年 3 月	沖縄県立中部病院内科研修修了
平成 2 年 3 月	岡山大学大学院医学研究科修了（医学博士）
平成 5 年 5 月	米国ペンシルバニア大学医学部大学院修了（臨床疫学修士）
平成 6 年 9 月	九州大学健康科学センター助教授
平成 17 年 11 月	九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座 教授
平成18年4月	九州大学大学院医学系学府 医療経営・管理学専攻 専攻長

専門科目 医療政策学、医療経済学、臨床疫学、健康支援学、内科学

**現職（各委員、所属学会等）**

福岡県後期高齢者医療検討委員会会長
福岡県医療費適正化計画検討委員会委員長
福岡県生活習慣病改善検討委員会委員長
福岡県医師会医政研究委員会委員
日本公衆衛生学会 評議員
日本産業衛生学会 編集委員
日本疫学会 評議員
日本衛生学会 評議員
日本健康支援学会 常任理事

# CCRC研究所

## 概要

- 組織名：株式会社 CCRC 研究所 (CCRC Research and Development, Ink)  
\* CCRC = Continuing Care Retirement Community (日本語訳：高齢者健康コミュニティ)

- 代表：窪田 昌行

- 設立：2007 年（平成 19 年）3 月

- 目的

欧米先進国の高齢者住宅、医療・ケアシステムを研究し、日本の風土に適した高齢者住宅システム“高齢者健康コミュニティ”を企画開発する。ここでは、高齢者が安心安全な環境で、かけがえのない人生をできる限り自立して、健康に、豊かに生活できる。

- 設立の動機

私は 1992 年、アメリカで CCRC という高齢者健康コミュニティと出会い大きな衝撃を受けました。そこでは、コミュニティ内で提供される総合的なサービスプログラムのもとで、高齢者が医療や介護に不安のない環境で、毎日を健康に、安心して暮らし、心から楽しんで生活していました。まさに、後期高齢者の理想的なモデルが CCRC というシステムの中にありました。そして、いつか日本でもこのような CCRC を創りたいと考えました。さらに、米国だけでなく、ヨーロッパ特にデンマークの高齢者住宅の研究を続けて参りました。

それから 18 年がすぎ、日本の介護施設は、着実に増加してきました。しかし、現在、高齢者が収容・管理される介護施設の実情も問題視され、高齢者が自由に選択できる“居住系サービス”の重要性も指摘されています。一方、医療制度改革でも、社会的入院の是正、療養病床の再編が検討される中で、居住系サービスの創出を後押ししています。

そこで、日本の風土と文化に適した高齢者住宅の開発を推進していくために、“CCRC 研究所”を設立し、研究開発に取り組んでいます。

- 取り組んでいる 3 つの研究事業領域

- (1) 高齢者住宅
- (2) 在宅医療・24 時間ケア～地域包括ケアシステム
- (3) 高齢者ネットワーク（高齢者同士の社会貢献活動）

- 代表の経歴

- 学歴

- 1979 年 3 月 九州大学工学部卒業
- 1981 年 3 月 九州大学大学院工学部修士課程終了 ME
- 1993 年 4 月 ペンシルバニア大学ウォートンスクール、ヘルスマネジメント学科終了 MBA
- 2000 年 3 月 岡山大学大学院医学部衛生学 医学博士

- 研究歴（論文・書籍等）

- 1995 年 8 月 保健・医療・福祉を統合した米国の高齢者終身ケアコミュニティの現状、公衆衛生 Vol. 59 No. 8
- 1997 年 3 月 Utilizing CCRC Concept for Long-term Care Policy of Japan、健康科学、九州大学健康管理センター
- 2000 年 3 月 Women Anxiety in Old Age and Long-Term Care Provision for the Elderly, ACTA MED Okayama
- 2001 年 4 月 健康支援学入門、日本健康支援学会、北大路書房
- 2003 年 3 月 日本の施設ケアサービスの行方～米国の CCRC から学ぶ、教育と医学
- 2005 年 9 月 高齢者の住まいづくりと健康支援、教育と医学
- 2007 年 2 月 病医院の事業多角化戦略モデルプラン集、総合ユニコム
- 2007 年 8 月 新シニア住宅開発実務資料集、総合ユニコム
- 2007 年 9 月 次世代ヘルスケアシステムの研究、医療福祉経営マーケティング研究、第 2 巻
- 2008 年 9 月 有床診療所における住宅型有料老人ホームの研究、医療福祉経営マーケティング研究、第 3 巻
- 2009 年 9 月 複合機能型シニア住宅の事業収支構造、総合ユニコム
- 2009 年 10 月 鹿児島県 高齢者健康コミュニティ CCRC 構想、医療福祉経営マーケティング研究、第 4 巻
- 2010 年 10 月 始良市高齢者自立支援コミュニティ構想、医療福祉経営マーケティング研究、第 5 巻

- 連絡先

本社：福岡市中央区六本松 3-1-52-401 〒810-0044  
筑紫オフィス：福岡県太宰府市五条 4-7-7 ウィステリア五条 301 〒818-0125  
TEL：092-405-1663 FAX：092-405-1664  
E-mail：info@japan-ccrc.net  
URL：http://www.japan-ccrc.net/

## 《研修ネット予約システム》

ご予約の前に会員ページへのログインが必要となります。

第2回継続研修（9/9）のお申し込みは先着順にて「研修ネット予約システム」上で受付いたします。後ほど申込完了通知がメール配信されます。

### 【会員ページへの入室（ログイン）方法】

《協会本部へのメールアドレスご登録がお済みの場合》

新ホームページ URL : <http://fukuoka.jahmc.com>（携帯対応）

【会員ページへの入室（ログイン）方法】

- ・ I D : **JAHMC** 本部に登録されているメールアドレスをご入力下さい。
- ・ パスワードの初期設定は「fukuoka」です。
- ・ ログイン後に「個人設定」ページから、パスワードを必ず変更して下さい。
- ・ メールアドレスを携帯電話に変更される場合には、「@jahmc.com」からのメールが受信できるように設定（指定受信等）してください。

《協会本部へのメールアドレスご登録がお済みでない場合》

誠にお手数ではございますが、代表メール【[fukuoka@jahmc.com](mailto:fukuoka@jahmc.com)】宛に、メールアドレスをお知らせいただきますようお願い申し上げます。

メールアドレスをお知らせいただいた後、事務局よりマイページ設定完了の通知（メール）を致します。マイページよりログイン後、研修ネット予約がご利用いただけます。

ご不明点がございましたらお知らせ下さいませ。

《マイページログイン方法》

- ・ メールアドレスを【[fukuoka@jahmc.com](mailto:fukuoka@jahmc.com)】宛にお知らせ下さい。  
↓
- ・ 事務局よりマイページ設定完了通知をお知らせ致します（メール）。  
↓
- ・ マイページよりログイン後、研修ネット予約がご利用いただけます。  
ご不明点がございましたらお知らせ下さいませ。

以上

社団法人日本医業経営コンサルタント協会

福岡県支部 事務局 担当：船津

10:00～16:00（月・水・金）

総合メディカル株式会社 内

TEL. 092-731-6001

FAX. 092-713-7616

Eメール **【[fukuoka@jahmc.com](mailto:fukuoka@jahmc.com)】**